

## 『スラブ解体中、急に振り向きコンパネの角に顔面強打負傷』

発 生 年 月 平成 年9月  
時 刻 11:20頃  
被 災 者 解体工(43歳)  
傷病名・部位 左前頭部割創、挫創・左頬骨弓骨折（不休災害）

- ◎ 発生状況
1. 被災者は当日、1Fで庇スラブ解体作業を開始し、解体材を南側現場出入り口近くに運搬集積する作業に着手した。被災者は職長と共にコンパネ及び単管の整理を始めた。
  2. 職長が床よりコンパネを拾い上げたとき、職長の背後でかがんで単管を整理していた被災者が急に立ち上がり、振り向いたため、コンパネの角に左顔面を強打し、受傷した。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・作業手順の再検討を行うこと。
- ・狭い場所で近接作業を背面で行わないこと。
- ・周囲の安全確認不足で、声かけ合図で作業を行っていないこと。
- ・作業に潜む危険に対する感受性をKY活動等により高める指導をすること。